

(1) 2017年度事業実績について

1 概要

後援会は、新たに1支部（豊和銀行支部）が設立され、会員数5,138名、会費収入20,714,000円となり、大分フットボールクラブ（以下大分FC）へ14,499,800円の財政支援を行いました。J2復帰初年度という機運の後押しもあり、発足以来2度目となる会員数5,000人突破となり、当初目標としていた15,400,000円の財政支援に対して未達に終わったが、財政支援率を60%から70%に上げた効果もあり、前年度より3,487,400円増額を実現し、さらに会費収入を増やすことにより将来において財政支援率の引き上げも可能であることが確認できた。また会員数のおよそ61%にあたる3,114名が支部所属会員であり、J2復帰初年度も引き続き、会員数、会費収入を増やした支部もあり、後援会の安定した会員数確保に向けた引き続き大きな力となっています。一般会員も新たな増口キャンペーン等の取り組みで従来伸び悩んでいた状況の改善が見え始めました。

2 後援会支部活動について

2017年に職域支部として豊和銀行支部が発足し、地域支部18支部、職域支部15支部となり、33支部となりました。

3 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月22日	佐伯支部イベント	後藤選手、吉平選手
2月12日	監督・選手激励会	片野坂監督、全選手
2月13日	津久見支部イベント	高木選手、佐藤選手
5月22日	大分東支部イベント	清本選手、佐藤選手
6月11日	佐伯支部イベント	川西選手、後藤選手
7月17日	臼杵支部イベント	清本選手、岩田選手
8月11日	後援会DAY	竹内選手、常田選手
10月2日	中津市役所支部イベント	坂井達選手、前田選手

4 その他の主な後援会PR活動、イベント

ダイハツ九州他スポンサー企業イベント、商業施設でのイベント、ファン感謝デー等の多くのイベント、支部主催のPR活動を行ってきました。

5 各支部による観戦バスツアー（助成金分以外も含む）

3月12日	佐伯支部
4月15日	佐伯支部
5月13日	佐伯支部
6月10日	佐伯支部

- 6月10日 新別府病院支部
- 7月 8日 佐伯支部
- 7月 8日 玖珠九重支部
- 7月22日 佐伯支部
- 8月11日 後援会DAY 佐伯支部
- 8月11日 後援会DAY 2011支部
- 8月25日 津久見支部、佐伯支部
- 9月 2日 佐伯支部
- 10月 8日 玖珠九重支部
- 10月14日 佐伯支部
- 10月28日 佐伯支部
- 11月 5日 応援DAY 佐伯支部
- 11月 5日 応援DAY 新別府病院支部
- 11月19日 応援DAY 佐伯支部
- 11月19日 応援DAY 新別府病院支部

6 後援会入会推進活動

- ・2017年監督・選手激励会やホームゲームでの「後援会DAY」の開催
- ・スタジアムでの入会促進チラシの配布ならびにブースでの入会事務
- ・ホームゲームでのハーフタイム抽選会の拡大（増口会員への新しいアプローチ）
- ・新規・増口キャンペーンによる入会・増口の促進

(総括)

既存の後援会各支部の協力に加え、新たな支部も立ち上がり、33支部になったものの、支部による活動の格差が広がっており支部への働きかけがまだまだ不十分であった。一方事務所移転により大分FCとの連携強化による経費削減効果もあり安定した運営を行いながら、多くの方々のJ2復帰初年度という機運にも助けられ、会員数、会費収入を増やすことにも成功した。ホームゲームでの勝ち試合が少なかったが、スタジアムでの二千円増口や増口・紹介キャンペーン等新たな取り組みで既存会員の増口や一人当たりの口数増、新規会員を増やすことにもつながった。

今後は、新たな会員獲得のため、大分FCとの連携を強化し、入会方法の多様化やシーズンパスとの連携を行い個人の会員数を増やすことを重点としながらも、安定的な支部会員への積極的な活動促進も不可欠である。引き続き、各支部、各会員におかれましては、大分FC支援の輪を広げる活動の積極的な展開をお願いすると共に、大分FCが将来J1で安定したクラブ経営を後押しするためにも、今まで以上の財政支援金の拡大が必要不可欠であり、20%程度の入会率であるシーズンパスホルターへの囲いこみや新しい試みにもチャンレンジしなければならない。